

教育課程上の名称		総合的な探究の時間・日工課題研究					
学校において定める目標		<p>工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを旨とする。</p> <p>(1) 工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身につけるようにする。(知識及び技能)</p> <p>(2) 工業に関する課題を発見し、工業に携わる者として独創的に解決策を探究し、科学的な根拠に基づき創造的に解決する力を養う。(思考力、判断力、表現力等)</p> <p>(3) 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)</p>					
講座編成及び授業担当者		工業科職員2名、普通教科職員2名					
設定時間		(金曜日、3・4時限目)				単位数(2)	
時期/月/日	探究課題	指導時数	探究の過程(時数)	学習活動(学習のねらい)	探究課題を通して育成を目指す資質・能力	主な言語活動	他教科等との関連
4月 5月 12月	個人、グループで適切な課題を設定する。 ・作品製作 ・調査、研究、実験 ・職業資格の取得	56	課題の設定(6)	生徒が進路希望や自らの興味・関心等に基づき課題を設定し、課題解決のための学習を展開する。 ・木材を利用した作品製作 ・金属加工による作品製作 ・資格検定取得を通じた課題解決活動など	(1) 知識及び技能 課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、探究の意義や価値を理解する。	テーマを決め、内容を比較したり、批判的にとらえたりするなど、知識や考えを深める。	技術の高度化や情報技術の発展(機械工作)
			情報の収集(6)	年次計画を立案し、必要な資料および材料などを調達し、製作・研究・実験を行う。 ・製作、研究、実験、調整、改良 ・作品製作などの課題を完成させる	(2) 思考力、判断力、表現力等 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、製作・分析する。	グループで協働的に問題を解決するため、学習の見通しを立てたり、製作や研究の結果を分析する話し合いを行う。	安全・安心な社会の構築(産業社会と人間)
			整理・分析(4)				
1月 5月 3月	課題研究の成果について発表をする機会を設ける	14	まとめ・表現(14)	1年間の課題研究の成果を報告書にまとめ提出する。 ・学習用パソコンを用いて情報収集、学習の記録(写真、動画)をする。プレゼンテーションソフト(パワーポイント)を活用して課題研究発表会の資料作成をする。プレゼンテーションに関する知識と技能を習得し、発表会の準備を行う。	(3) 学びに向かう力、人間性等 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。	製作や実験の結果などを整理し、相手に分かりやすく、プレゼンテーション資料などに表現する。	地域や社会の健全で持続的な発展等(道徳)
指導時間数の計		70					